

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【公開番号】特開2013-25605(P2013-25605A)

【公開日】平成25年2月4日(2013.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-006

【出願番号】特願2011-160592(P2011-160592)

【国際特許分類】

G 06 F 3/16 (2006.01)

G 10 L 15/28 (2013.01)

H 04 R 3/00 (2006.01)

G 10 L 15/00 (2013.01)

【F I】

G 06 F 3/16 3 2 0 B

G 10 L 15/28 2 3 0 K

H 04 R 3/00 3 2 0

G 10 L 15/00 2 0 0 F

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月7日(2014.7.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

情報処理装置であって、

当該情報処理装置の第1の状態変化を検出可能な状態検出部と、

ユーザのタッチを検出可能なタッチセンサと、

入力された前記ユーザの音声を音声信号に変換可能なマイクロフォンと、

前記音声信号を文字情報として認識する音声入力モードを実行可能であり、前記第1の状態変化が検出された場合に、前記音声入力モードが準備状態であることを示す第1の画像を出力するための第1のコマンドを生成可能であり、前記第1の状態変化に続いて前記タッチが検出された場合に、前記音声入力モードが実行可能な状態であることを示す第2の画像を出力するための第2のコマンドを生成可能な制御部と

を具備する情報処理装置。

【請求項2】

請求項1に記載の情報処理装置であって、

前記第1のコマンド及び前記第2のコマンドを外部の表示装置へ送信可能な通信部をさらに具備する

情報処理装置。

【請求項3】

請求項1または2に記載の情報処理装置であって、

筐体をさらに具備し、

前記状態検出部は、前記筐体の角度を検出可能な角度センサを有し、

前記制御部は、前記筐体の角度が所定角度範囲になったことが検出された場合に前記第1のコマンドを生成可能である

情報処理装置。

**【請求項 4】**

請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置であって、  
前記第 2 の画像は、前記第 1 の画像の一部が変化した画像である  
情報処理装置。

**【請求項 5】**

請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置であって、  
前記制御部は、前記第 2 の画像が出力された状態で、前記マイクロフォンに前記ユーザの音声が入力された場合に、前記第 2 の画像に代えて第 3 の画像を出力するための第 3 のコマンドを生成可能である  
情報処理装置。

**【請求項 6】**

請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置であって、  
前記制御部は、前記タッチが検出されなくなった場合に、前記音声入力モードを終了する  
情報処理装置。

**【請求項 7】**

請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置であって、  
前記状態検出部は、当該情報処理装置の第 2 の状態変化を検出可能であり、  
前記制御部は、前記音声信号の認識中に前記第 2 の状態変化が検出された場合に、当該音声信号の認識を中止する  
情報処理装置。

**【請求項 8】**

請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置であって、  
ネットワーク上の検索エンジンと通信可能な通信部をさらに具備し、  
前記制御部は、  
前記認識された文字情報を含む認識結果画像を出力するためのコマンドを生成し、  
前記認識された文字情報をキーとした検索処理を要求する検索要求情報を前記通信部により前記検索エンジンへ送信する  
情報処理装置。

**【請求項 9】**

請求項 8 に記載の情報処理装置であって、  
前記状態検出部は、当該情報処理装置の第 2 の状態変化を検出可能であり、  
前記認識結果画像は、前記認識された文字情報が表示される第 1 の領域と、当該第 1 の領域とは異なる第 2 の領域とを有し、  
前記制御部は、  
第 1 の文字情報が認識された場合に、当該第 1 の文字情報を前記第 1 の領域へ表示させ、  
前記第 1 の文字情報の認識後、所定時間内に前記第 2 の状態変化が検出された場合に、前記第 1 の文字情報を前記第 1 の領域から前記第 2 の領域へ移動させ、  
前記第 2 の状態変化の検出後に第 2 の文字情報が認識された場合に、前記第 2 の文字情報を前記第 1 の領域へ表示させ、  
前記第 2 の文字情報の認識後、前記所定時間内に前記第 2 の状態変化が検出されない場合に、前記第 1 の文字情報と前記第 2 の文字情報をキーとした検索処理を要求する検索要求情報を送信する  
情報処理装置。

**【請求項 10】**

請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置であって、  
前記タッチセンサは、前記音声入力モード以外のモードにおいてそれぞれ異なる機能が割り当てられた複数のタッチ領域を有し、  
前記制御部は、前記音声入力モードの準備状態及び実行可能状態においては、前記複数

の領域に割り当てられた機能を無効にする

情報処理装置。

【請求項 1 1】

請求項 1 から 1 0 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置であって、

前記タッチセンサは、複数のポイントに対するタッチを同時に検出可能であり、

前記制御部は、前記複数のポイントに対するタッチが検出されている場合は、前記第 1 の状態変化が検出されても前記第 1 のコマンドを生成しない

情報処理装置。

【請求項 1 2】

請求項 2 から 1 1 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置であって、

前記表示装置は音声を出力可能であり、

前記制御部は、前記第 1 の状態変化が検出された場合に、前記表示装置により出力される音声の音量を下げるための音量コマンドを生成し、当該音量コマンドを前記通信部により送信する

情報処理装置。

【請求項 1 3】

請求項 1 から 1 2 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置であって、

前記制御部は、前記マイクロフォンへの前記音声の入力レベルが第 1 の値以下であることを示す画像を出力するためのコマンドと、前記マイクロフォンへの前記音声の前記入力レベルが第 2 の値よりも大きいことを示す画像を出力するためのコマンドを生成する

情報処理装置。

【請求項 1 4】

表示部と、

ユーザが携帯する携帯機器から、当該携帯機器の所定の状態変化が検出されたことを示す状態情報と、前記携帯機器が有するタッチセンサにより前記ユーザのタッチが検出されたことを示すタッチ情報とを受信可能な通信部と、

前記状態情報を受信した場合に、前記携帯機器において実行される音声入力モードが準備状態であることを示す第 1 の画像を表示し、前記状態情報の受信後に前記タッチ情報を受信した場合に、前記音声入力モードが実行可能な状態であることを示す第 2 の画像を表示するように前記表示部を制御可能な制御部と

を具備する情報処理装置。

【請求項 1 5】

情報処理装置における情報処理方法であって、

前記情報処理装置の所定の状態変化を検出し、

前記所定の状態変化が検出された場合に、ユーザの音声から変換された音声信号を文字情報として認識する音声入力モードが準備状態であることを示す第 1 の画像を出力するための第 1 のコマンドを生成し、

前記所定の状態変化に続いて前記ユーザのタッチを検出し、

前記タッチが検出された場合に、前記音声入力モードが実行可能な状態であることを示す第 2 の画像を出力するための第 2 のコマンドを生成する

情報処理方法。

【請求項 1 6】

情報処理装置に、

前記情報処理装置の所定の状態変化を検出するステップと、

前記所定の状態変化が検出された場合に、ユーザの音声から変換された音声信号を文字情報として認識する音声入力モードが準備状態であることを示す第 1 の画像を出力するための第 1 のコマンドを生成するステップと、

前記所定の状態変化に続いて前記ユーザのタッチを検出するステップと、

前記タッチが検出された場合に、前記音声入力モードが実行可能な状態であることを示す第 2 の画像を出力するための第 2 のコマンドを生成するステップと

を実行させるプログラム。